

教養としてのアート

投資としてのアート

The Art as Culture and Investment

ビジネスパーソンが身につけたい基礎教養

徳光健治

KENJI TOKUMITSU

プロローグ 日本のアート・マーケットの夜明けに知ってあきたいこと

0  
0  
8

# 第 I 章 アート・マーケットの現在地

現代アートとはなにか

時代を変えた、「泉」という作品

デュシャンが発明したコンセプトチュアル・アート

日本のアート・マーケットは驚くほど小さい

バブルとともに縮小していった、日本のアート・マーケット

0 0 0 0 0  
3 2 2 2 1  
0 7 3 0 6

## II

## 海外アート・マーケットの今

アートフェアにはブライベートジェットで買いに行く  
 ギャラリー1社の売上高が日本のアート・マーケットを超える  
 美術館、オークションハウス、評論家によるシンジケートが  
 価値をつくる

0 0 0  
 4 3 3  
 2 7 6

## III

## 投資としてのアート、その実態

株価よりもアートのほうが投資効率が高い？  
 投資ポートフォリオの中に入れてみる  
 個人の好き嫌いで作品を買うと失敗する可能性が高い  
 安定志向のアートほど高い

0 0 0 0  
 5 5 5 4  
 4 2 0 8

## IV

## 重要なのは「発明品」と「インパクト」

発明品であること  
 インパクトがあること  
 アンディ・ウォーホルのもつすごさ  
 ジャクソン・ポロックはなぜ高く評価されるのか  
 評価の上がるアーティストの見つけ方

0 0 0 0 0  
 7 6 6 6 5  
 0 7 3 0 8

第

# V

章

## 買ってはいけないアート

価値の上がる仕組みのないところで、作品を買ってはいけない  
 ずっと同じ作品ばかりつくっていて、  
 代わり映えしない作家からは買ってはいけない  
 今を感じさせない作品は買ってはいけない

0	0	0
8	8	7
5	2	6

第

# VI

章

## 作品だけでなくアーティストを見る

作品だけ見てもだめな理由は？  
 貪欲さと地頭のよさ  
 出会いをつなげる

0	0	0
9	9	9
7	4	2

第

# VII

章

## 成功するアーティストとは

成功するアーティストとは  
 アンテナを張っている  
 コミュニケーション力がある  
 あきらめない忍耐力がある  
 本人のキャラクターに直接触れる

1	1	1	1	1
0	0	0	0	0
9	7	5	4	2

## VIII

## アートの新しい評価軸

アートの評価方法

アートの評価はより大衆化に向かっている

進化する現代アート

アートの新時代

アート・マーケットの寡占化

アートの大衆化

アートの民主化

コレクターの未来

アーティストの未来とテクノロジー

## IX

## 投資としてのアート購入の鉄則

鉄則1 同じアーティストの作品ばかり買わない

鉄則2 ずっと同じギャラリーで作品を買わない

鉄則3 写実作品と工芸的な超絶技巧は買う前にちょっと立ち止まろう

鉄則4 ギャラリーでは取り扱い作家のファイルを見せてもらおう

鉄則5 作家の代表作を買うべし

鉄則6 インテリアに合わせて作品を選ばない

鉄則7 プロの作家を選ぶ

1	1	1	1	1	1	1
5	5	5	5	4	4	4
8	6	4	1	0	8	7

1	1	1	1	1	1	1
4	3	3	3	2	2	1
0	6	4	0	5	2	9
					6	4

第

# X

章

## アート作品の正しい買い方

作家からではなくギャラリーから買うほうがよい理由  
 どのギャラリーで買うべきか  
 長期的な運用でしか利益は出ない  
 買ってから最低5年は待つ覚悟を

1	1	1	1
7	6	6	6
1	9	6	4

第

# XI

章

## 楽しみながらアートを買おう

コレクター仲間をつくる  
 買ったアートは見せたほうがよい  
 ギャラリー巡りで情報収集  
 芸術祭の旅で情報収集  
 インターネットでの情報収集

1	1	1	1	1
8	8	8	7	7
5	3	0	9	6

第

# XII

章

## コレクションをスタートしてみよう

社会貢献という意味  
 後世に残すものを保管する  
 なにを買ったらよいか、分からない人へ

1	1	1
9	9	9
5	3	0

第

# XIII

章

## ネットでもアートを買うとうとうこと

ネット販売の進化  
ネットで上手にアートを買う方法

プライマリー作品の買い方  
セカンダリー作品の買い方  
進化するアートコレクター  
10万円の作品から購入してみよう  
正しく買えば、価値は10倍になる

10万円以内で買えるおすすめアーティスト 20

10万円を超えるがチャレンジしたい注目アーティスト 20

エピローグ  
文化を育てていく

2	2	2	2	2	2	2	2	1
3	3	3	2	2	1	0	0	9
8	6	4	6	0	7	4	1	3
								6

プロローグ

日本のアート・マーケットの  
夜明けに  
知っておきたいこと







© 榊貴美

0  
0  
9

プロローグ

日本のアート・マーケットの夜明けに知っておきたいこと

わたしたちはアート・マーケットの拡大前夜にいます。そのような中に自分がいることを幸せに思っています。

AI（人工知能）の発達によってシステムや機械でできることが増え、多くのホワイトカラーの職を奪うことになるでしょう。

しかし、その一方でアーティストにしかできないことがあります。それはオリジナルのアート作品をつくるということです。

AIは職を奪うだけでなく、多くの人に時間を楽しむ余裕を与えてもくれるでしょう。

時間をもった人たちの中で、これまでできなかったアートをつくることに興味をもつ人は少なくないと思われます。

アーティストの数は今後ますます増えていき、あらゆる才能をもつ人がアート活動を目指すようになるでしょう。

そうなれば、アーティストによって大量につくられた作品が出現します。

その大量の作品を拡販するエンジンとしてアートの販売業者は、資本主義の世界の中でアートを

拡大させていかなければなりません。

株式会社ZOOの前澤友氏が高額なジャン・ミシェル・バスキア (Jean - Michel Basquiat) の作品を落札するというニュースを聞くと、そのようなことは一部の富裕層だけのものであると思われるがちです。

しかし、それは実態の一部を切り取って見ているだけで、現状は違うのです。高額な作品が増える一方で、一般層にも購入者が広がり、手軽に買えるマーケットも拡大しているのです。

そのようなアートが広がる端緒が開かれた今がまさにチャンスです。

今、わたしたちにとって必要なのは、美術史のような座学の教養だけではなく、**よいアートを買うために必要な教養**です。

本書ではよいアートへの投資をすることによって、将来的に高くなる作品を賢いコレクターが増えていってほしいと願っています。

買う側においても売る側においても、最も重要なのは正しい**マーケット観の理解と情報**が必要で

あり、それがよい意味での目利きをつくっていくのです。

「日本人は世界一のアート好き」

過去に海外のアート専門誌がこう報じたことがあるくらい、日本人は頻繁に美術館へ行き、アート鑑賞を楽しんでいます。メジャーな美術展では入場制限がかかることもあり、まるで人気アトラクションの順番待ちと同じように並んでまで観るほどアート鑑賞が大好きな国民です。アートは気持ち豊かにしてくれるため、美術館へ行く人が多いのかもしれない。

しかし一般的にはまだ広く認知されていない面があります。それは、アートが「文化的な価値」だけでなく、**金融資産や不動産と同じように「資産的な価値」**をもつということです。もちろん美術の教科書に載っているような巨匠たちについては、その価値が認められています。現代アートについてはほとんど知られていません。日本において、**現代アートが資産になるという一般論が普及していないのはなぜでしょうか。**

一方、海外では現代アートのもつ資産的意味合いが広く伝わっており、若い世代でも積極的にアートを購入しています。評価の定まっている作品以外にも、今後の成長が期待できる作家の作品を購入し、評価が上がるまで長期的に所有することも一般的に行われています。

日本にはアート＝資産として評価するものさしや、作品の評価等の情報が欧米に比べて少なく、日本と海外では、現代アートのとらえ方に大きな差が出てしまっているのです。

また、現代アートであれば没後の作家と違って作家も現存しているため、直接話すことで作品についてより理解を深めることが可能であり、今後の展開をともに楽しむことができます。

このようなかかわり方ができ、鑑賞も楽しめるという点から見ても、金融資産や不動産よりアートのほうがさまざまな側面で魅力があると言えるでしょう。

日本の現代アート作家は、海外と比較してまだまだ割安に購入することが可能です。本格的にアートが資産として認知される前のこの時期こそ、アートを買う絶好のタイミングかもしれません。

「観る」ことは受身ですが、「買う」ことは能動的にかかわることであり、それによって新しい価値観をアートに対して発見することができます。受け取るだけでなく、積極的にかかわることでもアートのもつさらなる魅力をぜひ、楽しんでみてください。